

科目名	地理	科目コード 015
-----	----	--------------

学年・学科等名	2 学年	全クラス	必修科目
単位数・開講期	2 単位	通年	
総時間数	60 時間		
担当教員	谷口 牧子		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	3
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	地理A・世界の暮らしを学ぶ(第一学習社)
補助教材	標準高等地図・新訂版(帝国書院)、ワークブック地理 A ノート(第一学習社) プリント、視聴覚教材
参考書	必要に応じて紹介する

A. Kyouikumokuhyou

グローバル化社会に必要な異民族や異文化に関する学習を通して、民族紛争や環境問題等、現代国際社会が抱えている諸課題に対する理解を深める。

B. 概要

現代国際社会における日本の現状を把握した上で、異民族や異文化に対する理解を深める。

C. 学習上の留意点

授業の内容を単なる事実の羅列としてとらえるのではなく、現代社会においてどのような問題が生じているのかを自ら発見するための素材として欲しい。新聞などに目を通す習慣を身に付けてもらいたい。

D. 評価方法

試験(80%) レポート等の課題(10%) 発表(10%)

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容
オリエンテーション	2	世界的視野からみた日本の位置と領域を理解できる
I 球面上の世界と地図	6	情報や通信手段の発達により、グローバル化が進展する
II グローバル化する現代世界	6	国際社会を把握することができる
(前期中間試験)	1	
III 多様化する世界の人々の活動	7	経済発展に伴う、消費や余暇活動の重要性の増大について認識することができる
IV 身近な地域の調査	8	身近に見られる国際化について(食の国際化等)関心を持つことができる
(前期末試験)		
V 世界の諸地域の生活・文化と環境	15	自然環境と文化の関係や国家と民族の関係について学び、異民族や異文化に対する関心を深めることができる
(後期中間試験)	1	
VI 近隣諸国の生活・文化と日本との関係	5	近隣諸国の生活習慣や文化に関心を持つことができる
VII ささまざまな地球的課題	5	現代国際社会が抱える地球的規模の課題を理解できる
VIII 地球的課題への取り組みと国際協力	4	地球的課題解決のために日本が果たすべき役割を理解できる
(学年末試験)		

F. 関連科目

社会、歴史、法学、経済学、政治学、史学、哲学、産業財産権論、国際関係論